



2019年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)



2019年7月4日

上場会社名 株式会社トーセ

上場取引所 東

コード番号 4728 URL <https://www.tose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 康人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 中川 尚樹

TEL 075-342-2525

四半期報告書提出予定日 2019年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第3四半期の連結業績(2018年9月1日～2019年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第3四半期	2,615	9.6	29	64.9	63	34.2	18	76.1
2018年8月期第3四半期	2,892	4.3	84	111.3	96	25.7	76	322.7

(注) 包括利益 2019年8月期第3四半期 4百万円 (94.4%) 2018年8月期第3四半期 81百万円 (2.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第3四半期	2.42	
2018年8月期第3四半期	10.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第3四半期	7,174	5,721	79.4
2018年8月期	6,914	5,898	85.0

(参考) 自己資本 2019年8月期第3四半期 5,696百万円 2018年8月期 5,878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期		12.50		12.50	25.00
2019年8月期		12.50			
2019年8月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,327	17.9	271	18.6	332	24.2	192	2.4	25.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年8月期3Q	7,763,040 株	2018年8月期	7,763,040 株
期末自己株式数	2019年8月期3Q	182,960 株	2018年8月期	182,757 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年8月期3Q	7,580,198 株	2018年8月期3Q	7,580,367 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は2019年7月4日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、ソニーが「プレイステーション4」の次世代機の開発を進めていること、Microsoft社がクラウドゲームサービス「xCloud」を2019年10月から開始することや次世代ゲーム機「Project Scarlett」を2020年末に発売することが明らかとなりました。また、動画配信大手のNetflix社がゲーム事業に参入することを表明するなど、ゲーム市場の拡大に期待が高まる状況となりました。一方で、2018年度のスマホゲーム国内市場規模が前年度比で3.0%増の1兆600億円に達する(株式会社矢野経済研究所調べ)と予測されており、引き続き拡大基調を保っております。

このような状況のもと、当社グループでは、中長期的な企業価値と資本効率の向上に向けて、新たに策定した中期経営ビジョンに基づき、組織戦略として①組織の再編成、②人材育成、③グローバル化の推進、事業戦略として④サービスの高付加価値化による収益基盤の強化、⑤技術進歩・外部環境を適切に捉えた既存事業の技術力向上や新事業分野進出への取り組みを開始しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、デジタルエンタテインメント事業において一部の家庭用ゲームソフトの大型案件に関して、顧客の要望により仕様の追加に伴う作業量の増加が発生し、開発の完了時期が第4四半期に変更となったことなどにより、26億15百万円(前年同期比9.6%減)となりました。

利益面につきましては、売上の多くが第4四半期に計上されることに加え、販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益29百万円(前年同期比64.9%減)、経常利益63百万円(前年同期比34.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益18百万円(前年同期比76.1%減)となりました。

なお、開発完了タイトル数は、家庭用ゲーム機向け3タイトル、パソコン向け3タイトル、スマートフォン向け8タイトルの合計14タイトルとなりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等) II 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

① デジタルエンタテインメント事業

当事業におきましては、ゲームを中心とするデジタルコンテンツの企画・開発・運営などの受託を行っております。製品別の内容は以下のとおりです。

ゲームソフト関連の売上は、上記1.(1)に記載のとおり、一部の家庭用ゲームソフトの大型案件に関して、顧客の要望により仕様の追加に伴う作業量の増加が発生し、開発の完了時期が第4四半期に変更となった結果、8億39百万円(前年同期比7.7%減)となりました。

モバイルコンテンツ関連の売上は、ロイヤリティ売上が伸長したものの、一部の運営案件に関して、顧客の要望により運営規模の縮小が発生したことなどにより、13億58百万円(前年同期比12.2%減)となりました。

パチンコ・パチスロ関連の売上は、規制強化の影響により引き続き厳しい受注環境が続いている中、適切な人員配置を行うべく、ゲームソフト関連やモバイルコンテンツ関連に多くの開発人員を投入した結果、1億10百万円(前年同期比51.0%減)となりました。

この結果、当事業の売上高は23億9百万円(前年同期比13.9%減)、営業利益37百万円(前年同期比50.7%減)となりました。

② その他事業

当事業におきましては、SI事業、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズによる家庭用カラオケ楽曲配信事業、コンサート事業やクレーンゲーム事業などの新規事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、SI事業において開発案件が好調に推移した結果、当事業の売上高は3億6百万円(前年同期比45.7%増)となったものの、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズが展開しているコンサート事業に係る費用が売上を大きく上回ったことから、営業損失7百万円(前年同期は営業利益8百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して2億59百万円増加し、71億74百万円となりました。資産の部におきましては、現金及び預金、売掛金などが減少した一方で、有価証券、仕掛品などが増加したことにより、流動資産が1億86百万円増加しております。また、投資有価証券などの増加により、固定資産が73百万円増加しております。

負債につきましては、未払法人税等などが減少したものの、買掛金、前受金などが増加したことにより、前連結会計年度末と比較して4億37百万円増加し、14億53百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いに伴い利益剰余金が減少したことにより、前連結会計年度末と比較して1億77百万円減少し、57億21百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期の連結業績予想につきましては、2018年10月5日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,280,550	1,922,189
売掛金	886,291	273,976
有価証券	147,368	249,436
仕掛品	212,284	1,154,914
その他	66,337	178,614
貸倒引当金	△1,045	△1,060
流動資産合計	3,591,787	3,778,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,286,669	1,306,908
減価償却累計額	△704,679	△730,290
建物及び構築物(純額)	581,989	576,618
工具、器具及び備品	309,293	321,155
減価償却累計額	△276,694	△287,837
工具、器具及び備品(純額)	32,599	33,317
土地	709,565	709,565
その他	71,773	71,773
減価償却累計額	△56,460	△60,285
その他(純額)	15,312	11,487
有形固定資産合計	1,339,466	1,330,988
無形固定資産		
ソフトウェア	37,910	59,126
ソフトウェア仮勘定	17,226	—
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	57,271	61,261
投資その他の資産		
投資有価証券	694,028	781,252
退職給付に係る資産	24,475	26,596
繰延税金資産	64,450	44,205
投資不動産	714,847	728,060
減価償却累計額	△81,734	△89,493
投資不動産(純額)	633,112	638,566
その他	510,299	513,554
投資その他の資産合計	1,926,366	2,004,175
固定資産合計	3,323,103	3,396,425
資産合計	6,914,891	7,174,497

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	98,869	135,529
未払法人税等	152,366	259
前受金	76,572	615,236
賞与引当金	94,978	121,732
役員賞与引当金	—	12,600
その他	259,624	246,286
流動負債合計	682,411	1,131,644
固定負債		
役員退職慰労引当金	264,878	275,303
その他	68,757	46,452
固定負債合計	333,635	321,755
負債合計	1,016,047	1,453,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,184	1,313,184
利益剰余金	3,773,377	3,602,200
自己株式	△173,009	△173,177
株主資本合計	5,880,552	5,709,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,510	△15,860
為替換算調整勘定	21,737	21,136
退職給付に係る調整累計額	△20,461	△17,675
その他の包括利益累計額合計	△2,234	△12,398
新株予約権	—	7,356
非支配株主持分	20,525	16,932
純資産合計	5,898,843	5,721,097
負債純資産合計	6,914,891	7,174,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)
売上高	2,892,687	2,615,510
売上原価	2,150,540	1,895,995
売上総利益	742,146	719,514
販売費及び一般管理費	657,954	689,993
営業利益	84,192	29,521
営業外収益		
受取利息	5,612	7,220
受取配当金	3,688	4,680
投資有価証券評価益	2,666	—
不動産賃貸料	45,253	45,491
為替差益	—	1,518
雑収入	10,588	4,146
営業外収益合計	67,808	63,056
営業外費用		
支払利息	16	21
為替差損	24,134	—
投資有価証券償還損	2,483	—
不動産賃貸費用	28,432	28,732
営業外費用合計	55,067	28,753
経常利益	96,933	63,824
特別利益		
固定資産売却益	1,195	—
投資有価証券売却益	85,724	—
投資有価証券償還益	3,135	—
特別利益合計	90,055	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,699
投資有価証券売却損	—	190
投資有価証券評価損	10,522	—
特別損失合計	10,522	1,889
税金等調整前四半期純利益	176,466	61,934
法人税、住民税及び事業税	89,172	22,738
法人税等調整額	12,014	24,461
法人税等合計	101,186	47,200
四半期純利益	75,279	14,734
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,542	△3,593
親会社株主に帰属する四半期純利益	76,821	18,328

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)
四半期純利益	75,279	14,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,982	△12,350
為替換算調整勘定	13,932	△600
退職給付に係る調整額	2,991	2,786
その他の包括利益合計	5,941	△10,164
四半期包括利益	81,221	4,570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,763	8,163
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,542	△3,593

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,682,569	210,117	2,892,687	—	2,892,687
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,883	45,189	61,072	△61,072	—
計	2,698,453	255,306	2,953,759	△61,072	2,892,687
セグメント利益	76,049	8,143	84,192	—	84,192

(注)1 売上高の調整額△61,072千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,309,385	306,125	2,615,510	—	2,615,510
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,052	48,262	65,315	△65,315	—
計	2,326,438	354,388	2,680,826	△65,315	2,615,510
セグメント利益又は損失(△)	37,478	△7,956	29,521	—	29,521

(注)1 売上高の調整額△65,315千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、連結子会社であるTOSE PHILIPPINES, INC.の管理手法の変更に伴い、従前「その他事業」に含めて開示しておりました当該連結子会社を「デジタルエンタテインメント事業」に含めて開示しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分方法により作成しております。